

—— 駅伝シーズンへ向けて ——

リオデジャネイロオリンピックが終わりました。当社陸上部の北島寿典選手は、序盤から第2集団でレースを進める展開となり、勝負に絡むことができないまま、それでも日本代表選手として最後までゴールを目指し、94位で無事にフィニッシュすることができました。多くの方に応援をいただき、ありがとうございました。

一方、他の選手たちは合宿やロードレース、ハーフマラソン、トラックレースなどを経て駅伝シーズンに備えました。

走りこみの確認として、函館マラソンのハーフマラソンの部に黒木文太選手と久保田大貴選手が出場。8位、9位の結果で距離への適応力を見せました。

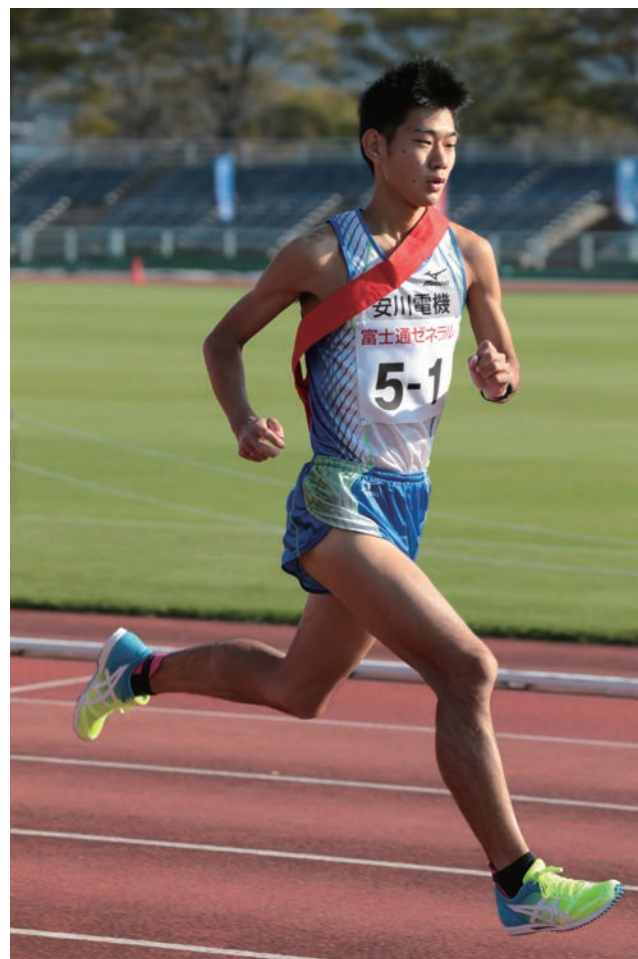
7月には土別ハーフマラソンに中本健太郎選手が出場。持ち前の暑さへの対応力を見せ、6位入賞と安定感を見せました。

9月には、実業団チームのビッグイベントである全日本実業団対抗陸上競技選手権大会が大阪市で開催され、当社より6名の選手が出場しました。先陣を切って3000m障害に出場した渡邊一磨選手が序盤先頭集団を引っ張り、6位入賞と健闘しました。続くジュニア1500mに出場した五郎丸真翔選手も常に先頭集団でレースを進め、表彰台にあと一步の4位入賞という走りを見せました。更にはジュニア5000mに出場した古賀淳紫選手が序盤から先頭集団でレースを展開。途中先頭に立つ場面も見せ3位でフィニッシュし、表彰台に上がりました。

一週間後の10月2日には、福岡県選手権大会兼 大牟田ロードレースで10kmの部に11名の選手が出場しました。日差しが強く、体感温度35℃を越える猛暑の中でレースが行われ、多くの選手が暑さで自重する中、古賀選手が積極的な走りで5位入賞。暑さに強い中本選手も8位と健闘しました。また、入社1～2年目の選手もそれぞれに合宿の成果を確認しました。

11月3日には、元日の全日本実業団対抗駅伝競走大会（ニューイヤー駅伝）の予選会となる九州実業団毎日駅伝競走大会が、今年からコースを一新し北九州市若松区の周回コースで開催されました。

1区古賀選手が積極的な走りを見せ区間3位でタスキを繋ぎチーム全体の良い流れを作りました。この勢いを2区マミヨ・ヌグセ選手が維持して、激しい2位争いを演じ区間賞を獲得。その後も選手全員が粘りを見せ、5区までは3位を維持。6区で4位に順位を落としましたが、7区の中本選手も区間3位の走りで4位でフィニッシュ。ニューイヤー駅伝に駒を進めました。



九州実業団毎日駅伝競走大会で好走した古賀選手

◆ 2016年6月～11月の主な戦績

日程	大会名	成績
6月26日	函館マラソン	ハーフマラソン：黒木選手8位、久保田選手9位
7月24日	サフォーランド土別ハーフマラソン	中本選手6位
8月21日	リオデジャネイロオリンピック	マラソン：北島選手94位
9月24日、25日	全日本実業団対抗陸上競技選手権大会	3000m障害：渡邊選手6位入賞 ジュニア1500m：五郎丸選手4位入賞（自己新記録） 10000mタイムレース：マミヨ選手11位 ジュニア5000m：古賀選手3位入賞、五郎丸選手22位 5000mタイムレース：佐護啓輔選手27位、高橋尚弥選手43位
10月 2日	福岡県選手権大会兼 大牟田ロードレース	一般男子10km 古賀選手5位、中本選手8位、アツバイナ デグ選手（新人）11位、 渡邊選手15位、林慎吾選手16位、井上拳太郎選手18位、黒木選手19位、マミヨ選手20位、 五郎丸選手33位、高橋選手36位
11月 3日	九州実業団毎日駅伝競走大会	チーム4位 ※（ ）内は区間順位 1区：古賀選手（3位）、2区：マミヨ選手（1位）、3区：佐護選手（4位）、4区：井上選手（2位） 5区：高橋選手（5位）、6区：林選手（6位）、7区：中本選手（3位）